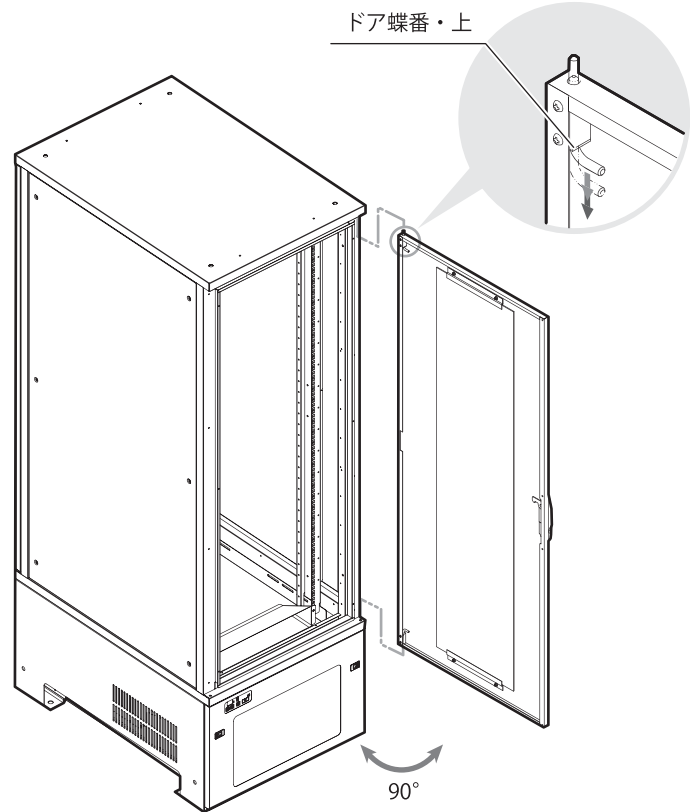


ドアの着脱方法

ドアの取り外し・取り付けは下記の手順にしたがっておこなってください。

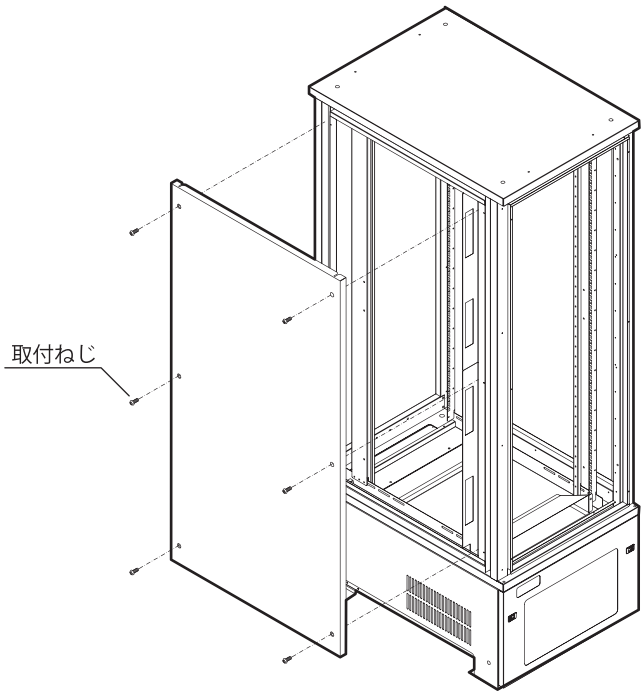
- ① ドアを 90 度以上開いてドア上部に取り付けられている蝶番のピンを操作してください。
- ② ピンを下げた状態でドアを傾け、上に持ち上げてドアを外してください。
- ③ ドアを取り付ける場合は、ドア下部の蝶番のピンを本体下部の蝶番の穴に差し込み取り外した時の逆の手順で上部のピンを差し込みます。



※ 背面はオプションによりパネルのものが 있습니다。

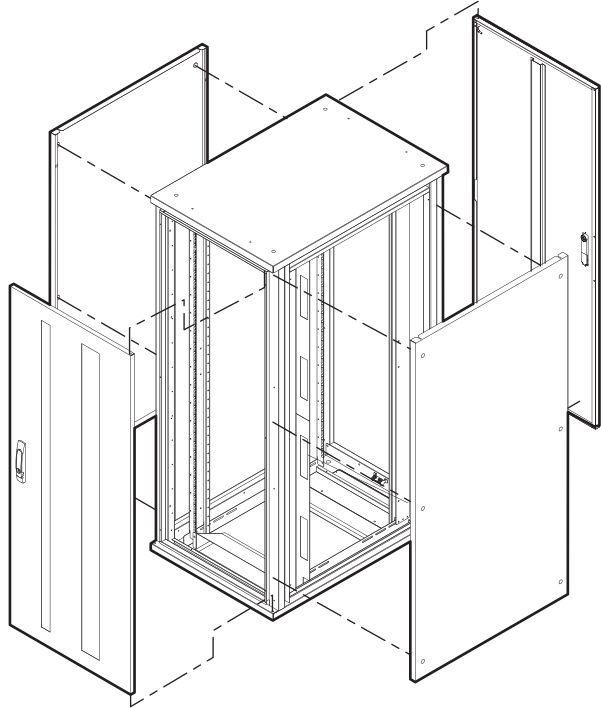
パネルの着脱方法

サイドパネル・リアパネルは、取付ねじ (M4 × 10) を外すとパネルの取り外しが可能です。
取り付ける場合は、逆の手順で取付ねじを使用して固定します。



設置準備 (本体)

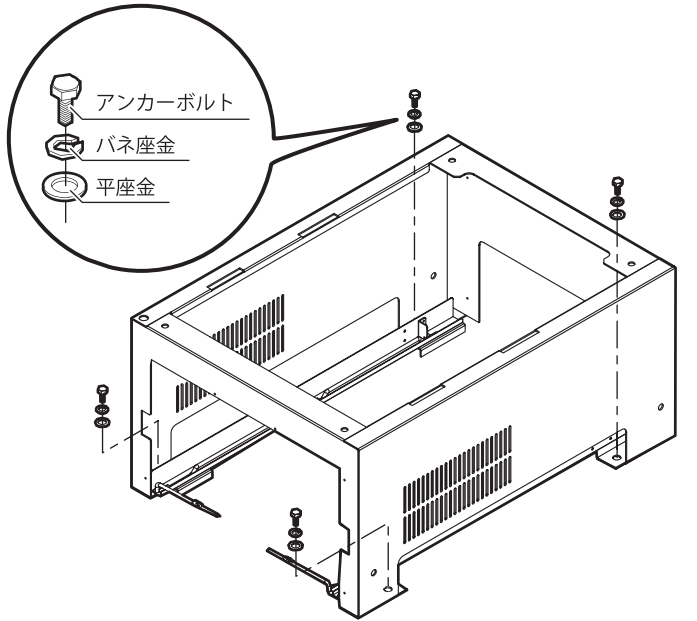
本体の扉・サイドパネル・リアパネルを外します。
取り外し方法はドアの着脱方法およびパネルの着脱方法を参照ください。



架台設置

■ アンカー固定

架台の四方をアンカーボルト、バネ座金、平座金を使用して固定してください。
※アンカーボルト・座金類は付属しておりませんので、お客様でご用意ください。



本体設置

下記の手順にしたがって架台とダクト、本体の取り付けをおこなってください。

■ ダクト取付

- ① 架台の上にダクトを載せてください。
※ ダクトの方向に注意してください。

■ 本体取付・固定

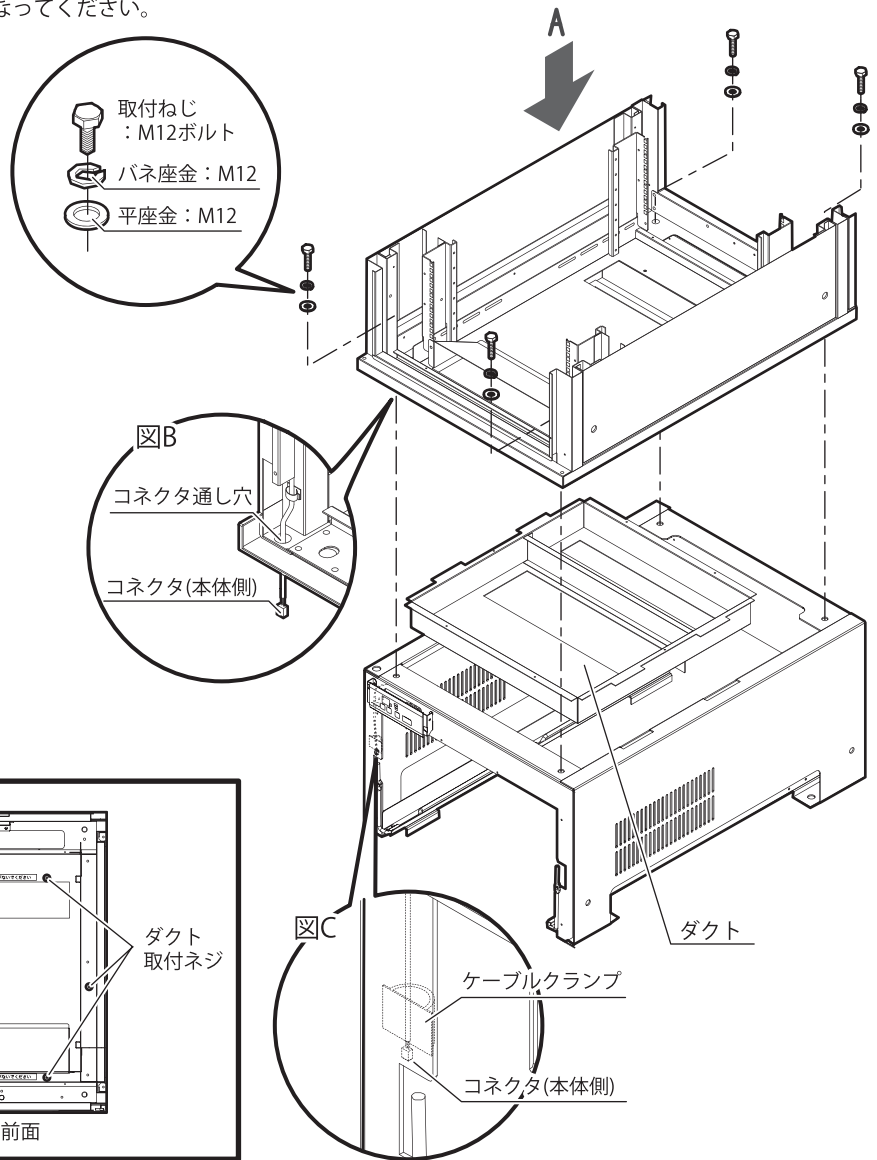
- ② 架台とダクトの上に本体を載せてください。
- ③ 本体の四方を本体に付属されていた、取付ねじ A セット (取付ねじ : M12 ボルト、バネ座金 : M12 平座金 : M12) を使用して固定してください。

■ ダクトと本体を固定

- ④ 本体の上からダクトを固定します。
図 A の位置に本体に付属されていた、取り付けねじ B セット (取付ネジ M4 × 10) の 6 本を使用して固定してください。

■ 温度センサ取付

- ⑤ 本体前面に温度センサがついています。
図 B を参照いただき、温度センサコネクタをコネクタ通し穴に通してください。
- ⑥ 図 C のように温度センサをケーブルクランプで固定してください。



設置準備 (架台)

架台の前パネル・押え板・ダクトを下記の方法で取り外します。

■ 前パネル

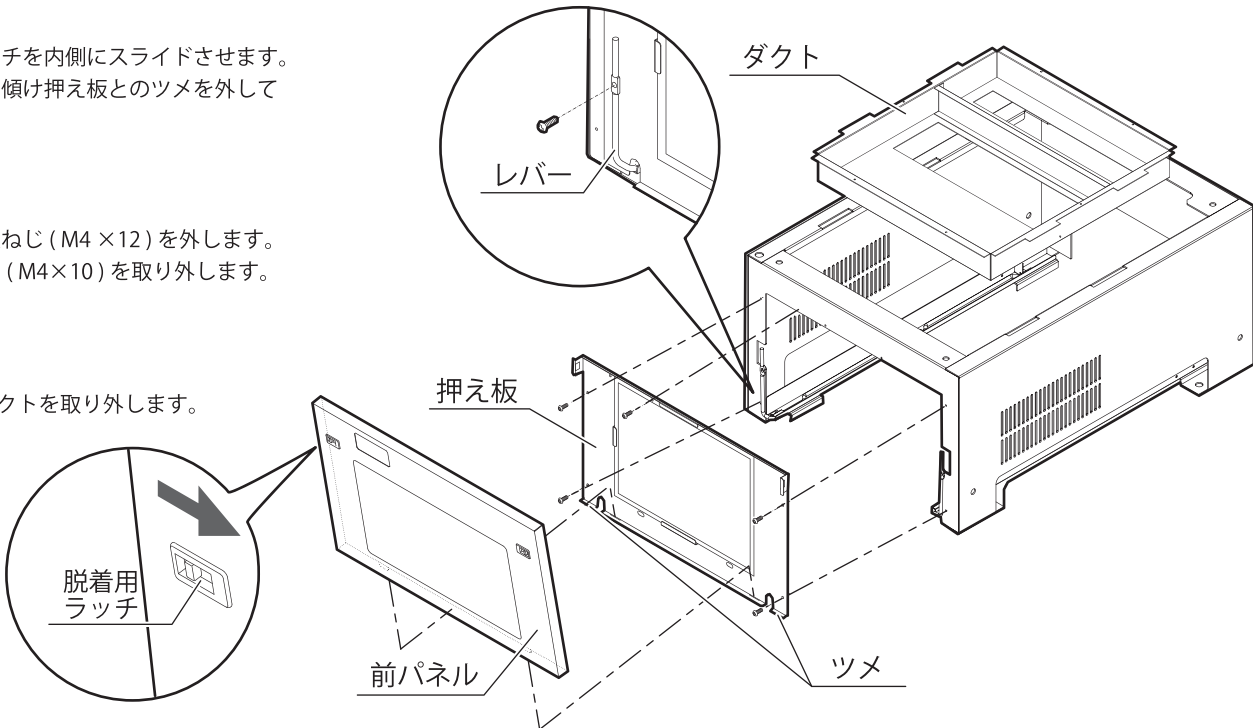
- ① 左右の脱着用ラッチを内側にスライドさせます。
- ② 前パネルを手前に傾け押え板とのツメを外して取り外します。

■ 押さえ板

- ① 左右のレバー固定ねじ (M4 × 12) を外します。
- ② 押え板の取付ねじ (M4 × 10) を取り外します。

■ ダクト

テープを外して、ダクトを取り外します。



※ 取付ねじは後で使用するので、施工が終わるまで大切に保管してください。

クーラー取付

下図の順番でクーラーを取り付けます。

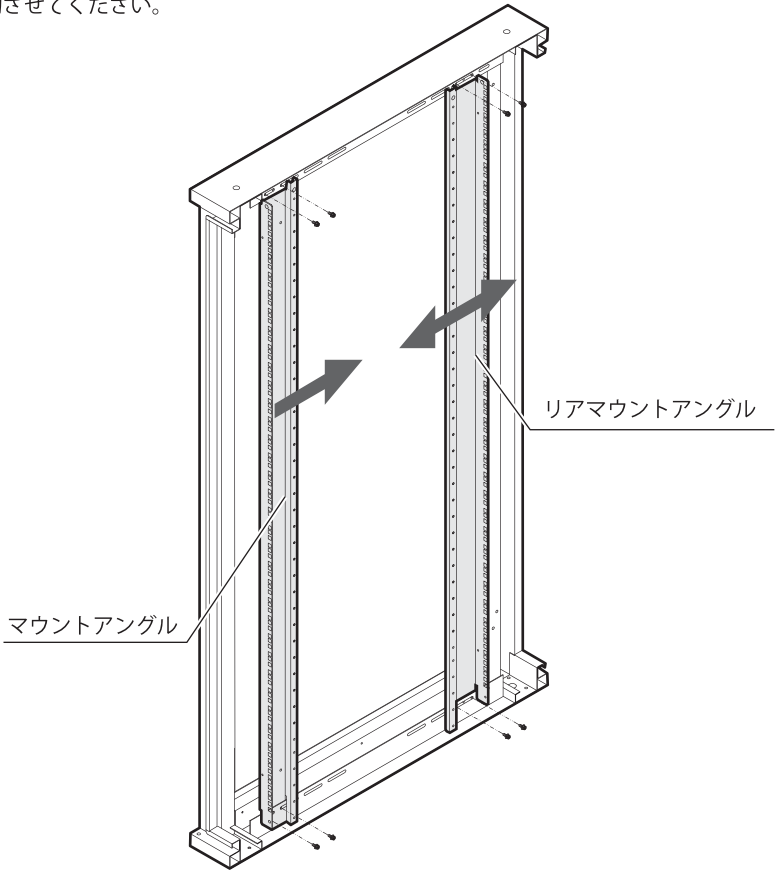
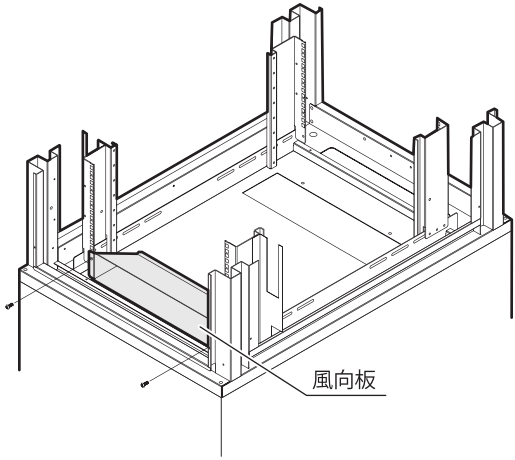
1	コントローラーを本体に付属されていた、取付ねじBセット (M4×10) の2本を使い、架台に取り付けてください。 ※ 架台裏面の操作パネルから出るケーブルを配線クランプに固定します。	2	架台左右のレバーが上に向いているか確認してください。 レールにクーラーを乗せてクーラーの2/3まで移動させてください。
3	コントローラーコネクタと温度センサコネクタをクーラーの配管に触れないように、2箇所配線固定に取り付けてください。	4	温度センサコネクタの本体側とクーラー側を接続してください。
5	コントローラーコネクタのコントローラー側とクーラー側を接続してください。	6	左右の取っ手を持ち、クーラーを奥の金具に当たるまで移動させてください。 ※ クーラー前面のフィンを押さないでください。 フィンが変形すると冷却機能が低下します。
7	押え板を取付ねじ (M4×10) を使い取り付けてください。	8	左右のレバーを奥へ押し込んだ後、レバーを内側へ倒して取付ねじ (M4×12) で取り付けてください。
9	クーラーに付属されていた、フィルターを右から差し込んでください。	10	前パネルを取り付けてください。 作業終了後にクーラーの動作を確認してください。

マウントアングルの移動方法

下記をご参照いただき、マウントアングル・リアマウントアングルを移動させてください。

マウントアングルを移動させるには、風向板を取り外す必要があります。

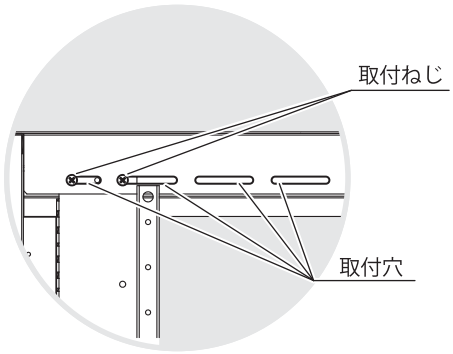
風向板の取付ねじ (M5×10) を取り外してください。
マウントアングルの移動完了後、風向板を取り付けてください。
※ 風向板は冷気を効率よく循環させるために必要な部品です。



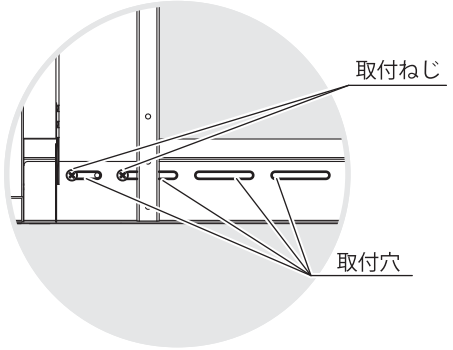
- ① マウントアングル・リアマウントアングルを固定している上下の取付ねじ (M5×10) を取り外します。
- ② マウントアングル・リアマウントアングルの上下の溝に沿わせて、スライド移動させます。
※ 取付穴 (長穴) がマウントアングル・リアマウントアングルの取り付けできる位置になります。
- ③ 移動後、取付ねじで固定してください。

マウントアングル

上部

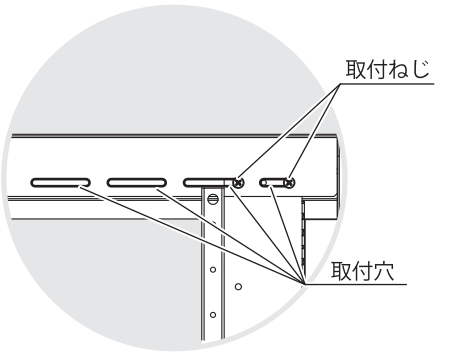


下部

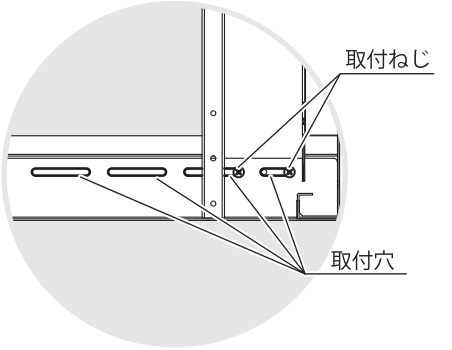


リアマウントアングル

上部



下部



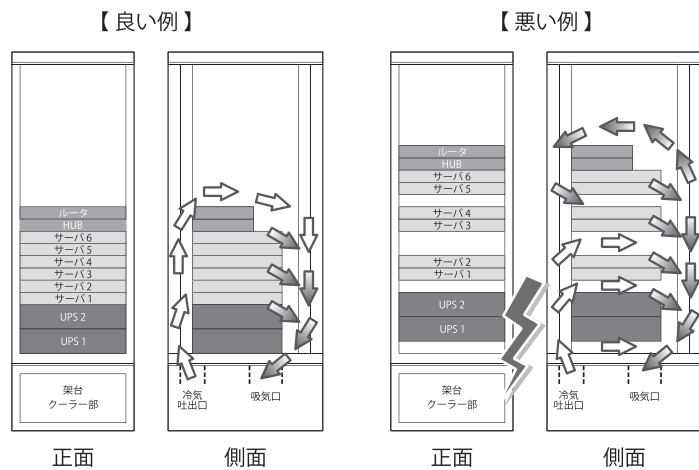
機器取付の注意

クーラックは機器前面より冷気を送り込み、ラック内を循環させることで機器を冷却する装置です。機器のレイアウトによっては冷気がラック内に滞留して、ラック内の温度が上がリ警報を出すことがあります。冷気がラック内にいき渡るよう、機器の配置を注意して取り付けてください。

- 機器は下からスペースを空けないように取り付けてください。
下部にスペースがあると、冷気が下部に溜まってしまいラック内を循環しません。
- 機器の間にスペースをつくる時はブランクパネルを設置してください。
スペース部分から冷気が抜けてしまい、ラック内を循環しません。
- ラック内にディスプレイを配置するときは、機器の一番上に設置してください。
ディスプレイを中央などに設置すると隙間から冷気が抜けてしまい、ラック内を循環しません。

※ 図中の は冷気
 は暖気の流れを表しています。

取付け例 1



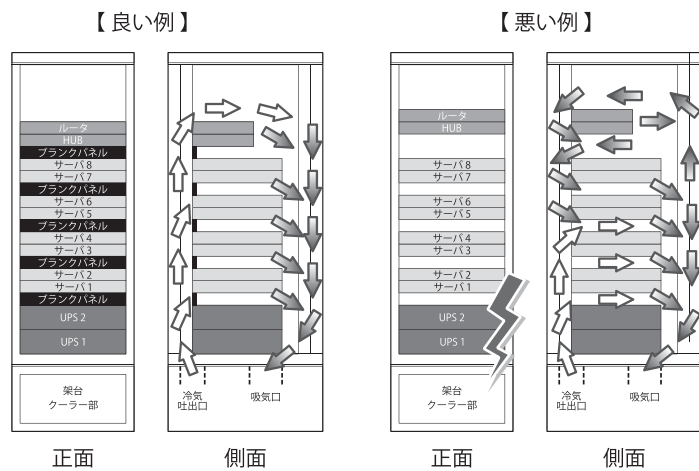
【悪い例の原因】

クーラーからの冷風が機器の間から抜けてしまいラック上部の温度が上がり警報が出力しました。

【対策例（良い例）】

機器を下から順番に設置することにより、冷気がラック内を循環するようになりました。

取付け例 2



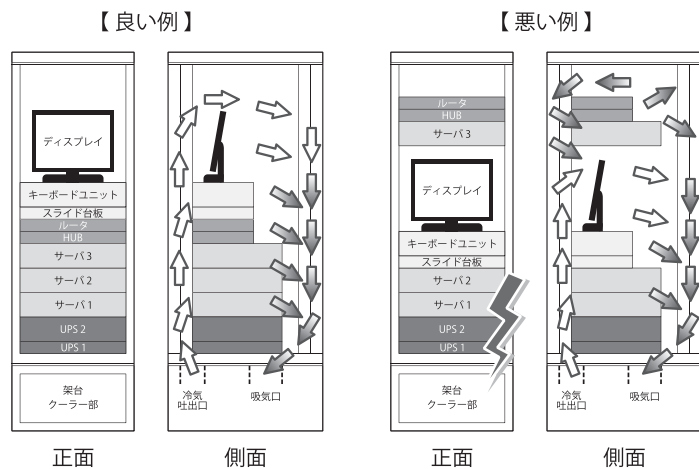
【悪い例の原因】

クーラーからの冷気が機器の間から抜けてしまい（ショートサイクル）ラック上部の温度が上がり警報が出力しました。

【対策例（良い例）】

機器の間にblankパネルを設置して、機器の間を抜けていた冷気が上部まで循環するようになりました。

取付け例 3



【悪い例の原因】

クーラーからの冷気がディスプレイから後方へ抜けしまいラック上部の温度が上がり警報が出力しました。

【対策例（良い例）】

機器の配置を変更して、ディスプレイを機器の最上部に設置することにより、真ん中から抜けていた冷気が上部まで到達し循環するようになりました。

冷媒漏えい点検記録表について

クーラックにはフロン類を使用しています。

本製品を所有されているお客様に製品の性能を維持していただくためと、冷媒フロン類を適切に管理していただくために定期的な冷媒漏えい点検（有償）をお勧めしています。

定期的な漏えい点検は有資格者が点検をおこない、下記の別紙『冷媒漏えい点検記録表』には機器を設置したときから廃棄するまでのすべてを記録します。

大切に保管していただくために『取扱説明書』・『施工説明書』・『冷媒漏えい点検記録表』を使用者様へお渡しください。

[illegible]

点検頻度など、定期的な冷媒漏えい点検に関する詳細は、下記のサイトをご覧ください。お買い求めの販売店または当社お問い合わせ先にご相談ください。

JRA GL-14 について	http://www.jraia.or.jp/
フロン漏えい点検制度について	http://www.jarac.or.jp/

お問い合わせ先

河村電器産業株式会社

つくば工場 TEL (029) 889-2771

〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里 13-4
筑波南第一工業団地

土・日・祝日・年末年始を除く AM9:00～PM5:00

- 営業所所在地
下記の弊社ホームページでご確認ください。
<http://www.kawamura.co.jp/>
- 本社
〒489-8611 愛知県瀬戸市暁町 3-86
TEL (0561) 86-8111

施工会社様は以下のご連絡先にご記入後、施工説明書と別紙、取扱説明書を
使用者様へお渡しください。

施工会社名

TEL : ()

施工年月日
20 年 月 日